

普及情報

「但馬米」の品質向上対策に取り組んで

1 はじめに

2002年産に大問題となった乳白米による等級の低下を改善するために、但馬産米の品質向上対策に取り組んだので、その内容を紹介する。

2 対策の概要

乳白による品質低下は2001年から問題になっていたが、一等米比率は80%を越えていたため、表だった乳白米対策は講じられなかった。

ところが、但馬地域の2002年は作況指数が106と豊作であったが、一等米比率が49.5%（コシヒカリ43.1%）となり、乳白米による品質低下の問題が顕在化した。このため品質向上対策として、指導関係機関が討議を重ね表1に示すように栽培管理を変更した。

表1 良質米対策による主な管理の変更点

	旧	新
田植え時期	5月上旬	5月中旬
中干し時期の分けつ本数	16~20本	15本
穂肥	出穂20日前と出穂10日前2回、N成分2.45kg	出穂15日前1回、N成分1.4kg
落水	—	稲刈り1週間前まで落水しない。

但馬では労働力確保の面で都合の良いゴールデンウィークの田植えが定着していたので、田植え時期を遅らせることについて農家の反発が予想された。

そこで、対策を定着し成果をあげるために、農協とともに特に一等米比率が低い地域を重点地域とし、集落毎の座談会やあぜ道講習会をこまめに行った。

更に、農家の反発も大きかったが地道な説得により、農協ではゴールデンウィーク中の水稻苗の供給

を、水利組合ではほ場への配水を取りやめた。

3 成果

これらの取り組みにより、現在では5月10日以降の田植えや出穂15日前1回の穂肥が定着してきた。また平成16年度の一等米比率は84.9%に向上した。

表2 品質向上対策にかかる重点地域1等米比率(単位:%)

地区	2002年	2003年	2004年
豊岡市	25.6	73.8	87.5
竹野町	25.3	70.5	100
香住町	12	57.7	85.8
日高町	9.3	32.5	60
出石町	14.3	40.4	77.7
但東町	6.4	43.5	84.9

2003年は冷夏なので除外した。

4 今後の方針

品質は向上したが、標高の高い地域や地力のないほ場では収量の低下が目立つ。品質を維持しつつ収量も確保していくために、地力や気温など地域の条件に合ったきめ細かな栽培こよみに変更し、指導していく。

小谷 定（豊岡農業改良普及センター）



あぜ道指導により管理を徹底